



新たな水稻種子センターが完成

秋田市上新城で進められていた水稻種子センターの建設工事が完了しました。新センターの処理能力は選別調製、消毒ともに1時間当たり2トンに上り、旧センターの2倍に向上しました。令和6年産米から稼働し、新センターで生産された種子は令和7年から生産者に供給されます。

3月18日(月)に当JAの役職員が新センターを訪れ、工事関係者から作業の流れや設備の処理能力などの説明を受けました。施設の内外や荷受けした種子の経路、種子消毒機の状態などを確認し、不備がないかを点検しました。

📷 新しい水稻種子センターの外観



資格試験などに職員67人が合格

3月8日(金)、職員が取得した各種資格や試験の合格証書などの交付式が、JA秋田なまはげ会館で開かれました。昨年3月から今年2月までに、職員67人が76の資格試験などに合格。国家資格試験に合格した職員や複数の資格を取得した職員も見られ、職員それぞれに佐藤広美組合長が合格証書や資格認定証などを手渡しました。

佐藤組合長は「職員が成長することはJAの成長に繋がる。皆さんの高いポテンシャルを生かして、プライドと自信を持ちながら今後頑張ってください」と呼び掛けました。

📷 試験に合格して証書を受け取るJA職員



確定申告の相談を受付

確定申告期間の2月から3月にかけて、管内の各所で令和5年分の申告納税にかかる相談会が行われました。生産者らが申告書類やパソコンなどを持参して相談会場を訪れ、当JAの営農経済部や支店の職員、税理士などが対応しました。

生産者らが必要書類や記帳時の疑問点、農業簿記ソフトの操作方法などを尋ねる姿が多く見られました。職員らは電卓で領収書や各科目の金額を計算したり、書類の内容に漏れがないかをチェックしたりしながら、申告者の質問に答えました。

📷 相談に応じるJA職員



クボタアグリサービス(株)から農機職員へ表彰状

「JA&クボタBIGTRYセールスコンクール」で、払戸農機センターの三浦芳人センター長補佐が拡販功績賞を受賞しました。クボタ製品の販売効率の向上などに努めたことから、クボタアグリサービス(株)から表彰状が贈られました。

同コンクールでは一昨年にも三浦センター長補佐が、昨年には追分農機センターと雄和農機センターの職員が受賞するなど、毎年当JAの職員が入賞しています。

引き続き生産現場を支えられるように、各メーカーと連携しながら農機事業に尽力します。

📷 表彰状を受け取った三浦センター長補佐